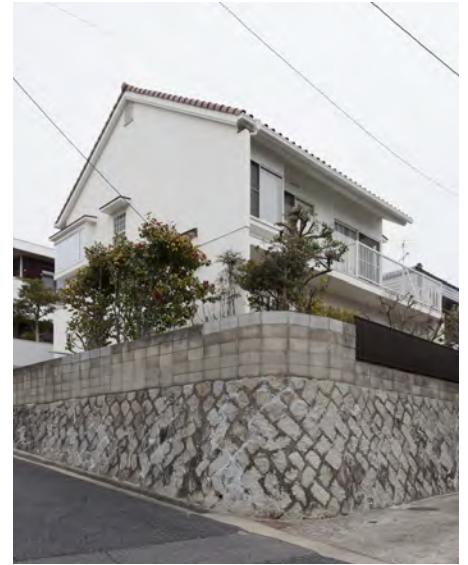




1階 居間・食堂・台所 全ての空間が一つにつながる



南側外観

亡き夫が設計した思い出いっぱいの家を、残された母娘が二人で支え合える住まいにリフォームすることを決断した。1階は築42年の鉄筋コンクリート造、2階は後から増築された築25年の木造。ちょっと変わった建物だ。それもそのはず、元工業高校教師のお父さんが家族を思い自ら設計した家である。

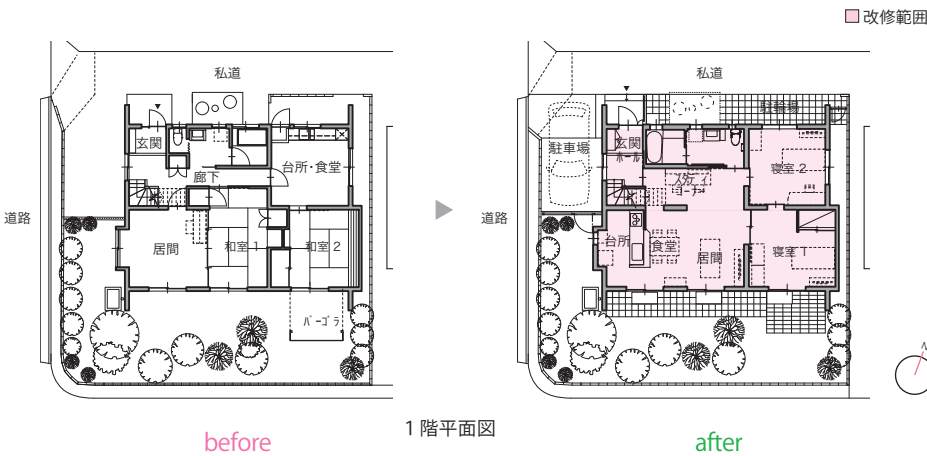
一番の心配ことは耐震性能。時折コンクリートが剥がれ落ち、設備の老朽化と寒さ・湿気も気になる。アレルギーや防犯の対策を施し、高齢に備えたコンパクトな暮らしがしたい、引退後は書道教室を開きたいという夢も委ねられた。

二人の生活が1階で完結できればベストである。まずは建物調査を行い、次に耐震診断。お父さんが残してくれた設計図と構造計算書が活躍した。1階のコンクリート外壁を補強すれば新耐震基準をクリアできる。1階はスケルトン状態に（外壁だけ残して解体）して、構造体を補強。そして理想の生活に合った間取りへと生まれ変わった。同時に省エネ性能の向上に務め、断熱改修やペア硝子サッシに取り換え、電気・設備機器の刷新、床暖房の導入、省エネ型の住宅設備をオール電化で調えた。安全・快適でどこにいても母娘の気配が感じられる「終の棲家」居間に設えたお父さんの写真がやさしく微笑む。



東側全景

所在地	廿日市市宮島口上
主要用途	専用住宅
構造	1階：RC造、2階：木造
階数	2階建
面積	敷地面積 213.03㎡
	建築面積 81.98㎡
	延床面積 151.33㎡
	改修面積 81.98㎡



食堂から居間、寝室を見る



玄関ホール



寝室より居間、玄関を見る



居間より左から食堂・台所、洗面所を見る